資料　Ｎｏ.7	経済建設常任委員会所管事務報告資料 令和７年６月２０日【建設部管理課】

公園DXの実証事業について

1. 概要

北海道デジタルチャレンジ交付金を活用し、民間事業者と恵庭市と指定管理者がコンソーシアムを組んで、公園のデジタル化に取り組むものです。

法令に基づき作成されている公園台帳や公園のあり方等検討委員会の試行・調査として作成する公園カルテなどを活用し、Ｗｅｂ上に生成ＡＩを活用した公園コンシェルジュ機能を作り、公園利用者は２４時間３６５日、公園に関する問い合わせが可能となります。

2. 事業内容とスケジュール

事業名：生成ＡＩを活用して「公園を中心としたまちづくり」を実現する公園ＤＸ実証事業

構成員：協栄産業株式会社、恵庭市、恵庭まちづくり協同組合

令和７年度

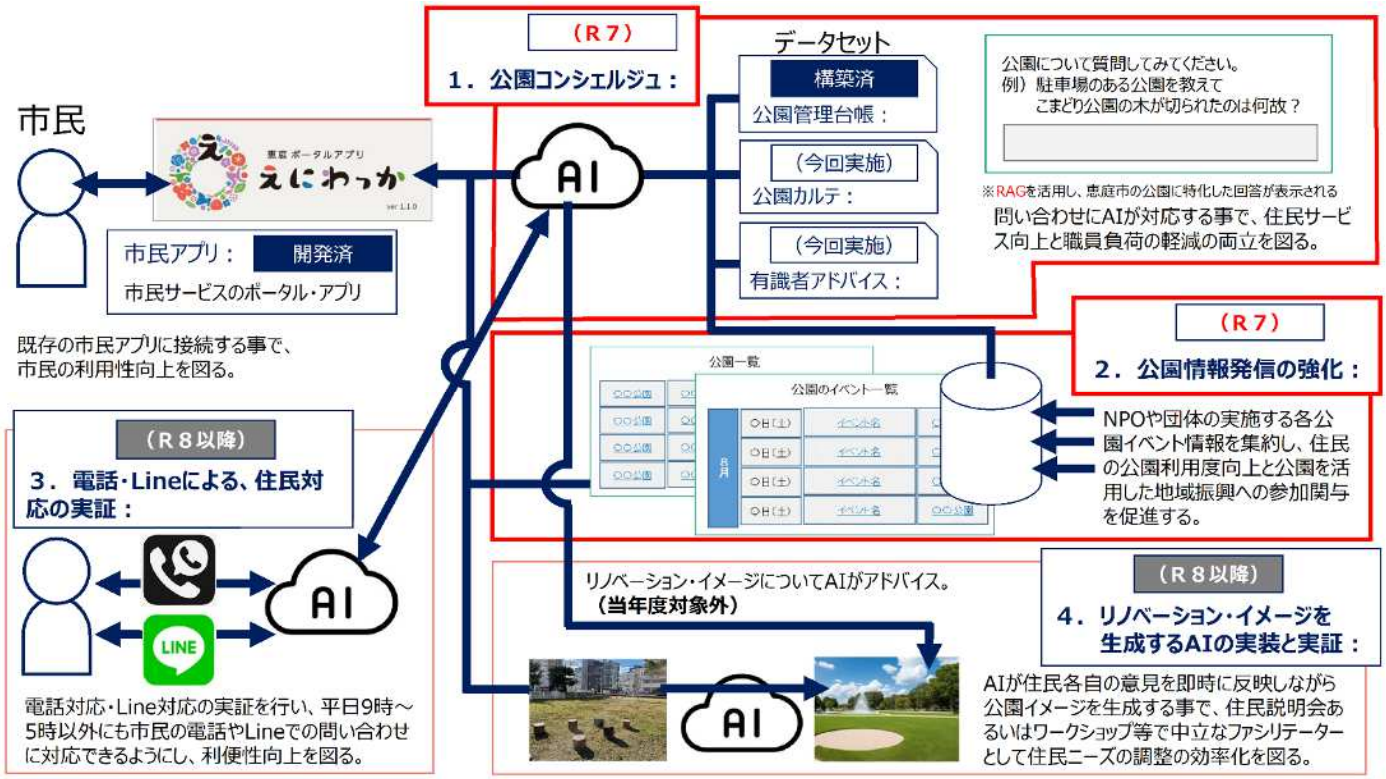
事業内容：公園に関する発信情報の集約と情報収集

公園コンシェルジュによる住民からの問い合わせ対応、公園情報発信の強化

事業費　：１１，０００千円（恵庭市負担分５，５００千円）

令和８年度以降

事業内容：公園コンシェルジュの音声応答対応

リノベーション・イメージを生成するＡＩの実証

3. 事業イメージ